

2025年11月吉日

第11回待兼山会議(国際公共政策コンファレンス) 募集要項

主催:大阪大学大学院国際公共政策研究科

I. 本会議について

大阪大学大学院国際公共政策研究科では、高校生を対象に国際社会の課題の打開や解決に向けての研究成果を発表する場として「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」を開催しております。本研究科は2015年より高次の探究活動に取り組む高校生に活躍の場を提供してきており、今回で11回目の開催を迎えます。本行事では、高校生による探究活動の発表に加え、社会課題に関する特別講演などのプログラムも企画しています。

今日、世界と私たちの繋がりはさらに密接なものとなり、生活に多大な変化を及ぼしています。2015年の国連サミットでは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全加盟国の合意で採択されました。またここ大阪の地では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が4月から10月にかけて開催され、環境・食品・人権など多様なテーマに関する最新の知見と取り組みが発信されました。「いのち」と「共生」を重視する新しい未来社会像を共有する契機となり、国際的な分断が広がる中でも文化の交流を通じた相互理解を進める場になりました。

その一方で、SDGsの達成期限が近づく中、2030年以降のポストSDGs社会における新たな目標設定や持続可能な社会のあり方に、関心と議論が高まりつつあります。また、国際的にも、地球環境や食糧、人権など様々な分野において、国境を越えた協力と連帯が要請される問題が山積しています。さらに、パレスチナ・ガザ地域におけるイスラエル軍とイスラム組織ハマスとの戦闘や、ロシアによるウクライナ侵攻などの政治的な問題も依然として終結の目途が立っていません。

これらの諸課題に対処するには、社会課題に対する強い関心はもとより、その本質を見極める能力や諸分野の知識・手法を横断的に駆使する公共政策的なアプローチ、文化や立場を超えて相互に理解を深める共感力、そしてコミュニケーション能力等が求められます。

私たちの社会を見つめ直してそこに存在する諸課題を自分事として捉え、その打開や解決のための能力と発信力を身に着けると共に、将来の新たな世界を切り拓くリーダーとなる高校生同士で刺激を喚起し、ネットワークを作り出すことを目的に本会議を開催しております。

ぜひ奮ってご応募ください。

II. 本会議のテーマ

「ポストSDGs社会を見据えた国際的な問題の分析とその解決策」

2030年までに達成することを目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の下での諸課題に対する現状分析、先行研究の紹介にとどまらず、2030年以降のポストSDGs社会を見据えた**具体的かつ論理的な解決策を提示する研究**が求められます。

審査においては以下の審査基準を基に多角的に評価します。

「課題の重要性・問題意識」:

当該課題を取り上げることの重要性・意義、その課題に対する問題意識
(説得的なものであること如何を問題にしない)が明らかであるか

「新規性・独自性」:

主張される結論・提言の内容に独自性があることを問う
(重点が先行研究の分析にあっても結論・主張に新規性があればよい。)

「方法論」:

因果・比較、比較対象の適当さ

「論理性」:

仮説と結論の一致、論理の飛躍はないか、主張の一貫性、全体の流れ

「論拠の的確性」:

論文の全体構成において、自身の結論に対する合理的な根拠づけ・サポートができて
いるか。

(引用するデータが主張・説明をサポートするための重要な情報であること。)

「実現可能性」:

主張が実現可能であるか、あるいはその可能性が十分に見込めるかについての考察
がなされているか。(資金面・運営面などについて考察がなされているか。)

III. 概要

日程	2026年3月26日(木)～27日(金)
開催形式	対面・オンライン (詳細はIV. <u>申し込みについて</u> をご参照ください)
会場	大阪大学豊中キャンパス
スケジュール (予定)	○3月26日(木)10:00～18:00(目安) ● 開会式 ● 分科会(各テーマごとに分けられた参加者が発表する会) ● 交流会・結果発表
	○3月27日(金)9:00～17:30(目安) ● 全体会(各分科会の代表による発表) ● 特別講演 ● 閉会式(表彰、全体講評) ● 懇親会(自由参加)
	※交通機関などの事情による遅刻、早退については対応いたします。 参加申込書の備考欄に目安到着時間をご記入ください。

表彰・参加証等	参加者には本研究科より参加証明書を発行します。 また、全体の中から優秀な発表を表彰します。 その他、全ての発表について審査員による講評を予定しています。
参加費	無料 (交通費・宿泊費補助の詳細は <u>IV. 申し込みについて</u> をご参照ください)
見学	無料 見学は対面・オンライン併用で行います。 募集は 1月19日(月) から開始いたします。 HPにて募集情報を公開いたしますので、今しばらくお待ちください。

IV. 申し込みについて

参加資格	高校生・高専1～3年生(2026年3月時点)
参加形態	対面(大阪)参加とオンライン参加のいずれかを選択いただけます。 お住まいの地域等に関わらず、どちらでもお申し込み可能です。 ただし、オンライン参加にあたっては、交流会など一部のプログラムへの参加が制限される場合や、回線トラブル等が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。
交通費・宿泊費補助	対面参加者 には、交通費・宿泊費の一部(5000-8000円程度)を補助する場合があります。 ※支給有無・金額につきましては、移動距離および所要時間をもとに判断させていただきます。
発表人数	個人、チームを問いません。 ただし、チームで発表する場合は、1チーム最大6人までとします。 (同一の学校から複数の個人、チームが参加する事は可能です。)
発表内容	ポストSDGs社会を見据えた国際的な問題の分析とその解決策 ※表彰者の発表については、概要を外部向けに公開する場合があります。
発表形態 (予定)	スライド等を用いた口頭発表(20分)+質疑応答(20分)の計40分 なお、口頭発表の時間は 最低17分 とします。
使用言語	日本語または英語

申込方法	以下に従って、【参加申込書】【研究についての論文】をメールでご提出ください。 1. 宛先：flagshipoct12021@gmail.com（学生団体Flagship） 2. 件名：「学校名・代表者氏名」 【参加申込書】 下記のURLまたはQRコードからHPにアクセスし、【申し込み】ページから参加申込書をダウンロードし、PDF形式で提出してください。 提出の際、ファイル名は「学校名・参加者氏名」に変更をお願いします。 グループで参加の場合は、記入後にPDF化したうえ、代表者がメンバー全員分を取りまとめて提出してください。 【研究についての論文】 1)ファイル形式：PDF形式 2)ファイル名：「学校名・代表者氏名」 3)論文の構成 A. 表紙(1ページ目) a. 研究のタイトル b. 高校名 c. 執筆者名(チーム発表の場合はそのすべてのメンバー) B. 本文 ・2000字以上(タイトル・副題・参考文献を含まない) ・論文末尾に字数を記載すること。 ※例：(3002字) ・章立てをして記載すること。 ・常体(だ・である調)を使用すること。 ・AIの使用は全面的に禁止します。 ※明らかな使用が見られた場合は、厳格な措置を取らせていただきます。 ・先行研究は、脚注や「」を用いて引用部分を明示すること。 ・引用元を示さないコピー・剽窃等による盗用は禁止。 ・参照した情報や先行研究は、「参考文献」として論文末尾にまとめて記載すること。 ・堀一成 坂尻彰宏、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門 ―「学問への扉」に備えて―』、大阪大学 全学教育推進機構、2023年4月第4版第5刷発刊 https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71454/2023academicwriting.pdf ・「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP内『申し込み』ページ下部の『参考資料』を適宜ご参照ください。 なおHPのQRコードはVL今後のお知らせにございます。
-------------	---

一次選考	申込締切後、【研究についての論文】にしたがって運営が一次選考を行います。
申込受付期間	2025年11月17日(月)～2026年1月7日(水)23:59 必着
採否通知	2026年1月19日(月) 12:00

V. 問い合わせ先

学生団体Flagship（大阪大学公認団体）

Email: flagshipoct12021@gmail.com

ただし、審査結果ならびに補助の決定等についての個別のお問い合わせには、一切お答えいたしかねますのであらかじめご了承ください。

VI. 今後のお知らせ

HP及びInstagramにおいて、最新情報を配信する予定です。

・「待兼山会議(国際公共政策コンファレンス)」HP:

<https://osippconference.wixsite.com/conference>



・学生団体Flagship Instagram イベントアカウント(@ou_flagship.event):

https://www.instagram.com/ou_flagship.event/

